

マリアニストの伝統における信徒生活への指針

本文書は、第4回信徒マリアニスト共同体世界大会に於いて、2005年から2009年の未来に向けての挑戦として提出された課題「全4回の世界大会宣言文をひとつにまとめ上げることは『信徒生活の指針』のための出発点となる」に対する応戦として、信徒マリアニスト共同体国際チームと北米マリアニスト研究会が、1993年、1997年、2001年、2005年に開催された信徒マリアニスト共同体世界大会の各宣言文を共同して総括し、2009年4月に出されたものである。

目 次

信徒マリアニストとは・・・

マリアニスト家族の創立者たちを理解し、マリアニストのカリスマが 世界および教会の双方にとって、いかに賜物となっているかを理解する ことにおいて成長する人たちである -----	P.4
マリアを理解し、マリアとの関係において成長する人たちである -----	P.7
聖書に表されている「この人が何か言いつけたら、そのとおりにして ください」(ヨハネ2:5) というイエスのミッションを、進んで受け 入れる人たちである -----	P.12
希望の共同体を建設し、維持することに手を貸す人たちである -----	P.15
教会の中で預言的しるしとなるように成長する人たちである -----	P.22
祈りと信仰において成長する人たちである -----	P.24
マリアニスト家族へ時間と能力を提供し、私たちの信徒組織を支えるために、 財貨を提供する人たちである -----	P.27

信徒マリアニストとは・・・

マリアニスト家族の創立者たちを理解し、マリアニストの
カリスマが世界および教会の双方にとって、いかに賜物と
なっているかを理解することにおいて成長する人たちである。

信徒マリアニスト共同体とは、世界における教会の使命に奉仕するキリスト者の共同体です。私たちは、世界的規模のマリアニスト家族の一員であり、創立者たちのカリスマによって霊性を受けています。福者ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード神父は、生涯を通じて、また特に、スペインのサラゴサの「柱の聖母」聖堂で、マリアからの力強い霊示を与えられました。尊者アデル・ド・バツ・ド・トランケレオンおよび尊者マリー・テレーズ・ド・ラムルースと共に、師はこの霊示をマリアと一致して、信徒の共同体の設立という方法により、フランスにおける教会の復興のための新しいミッションのビジョンに結実させました。(注：信徒マリアニスト共同体の歴史と伝統を通じて、この「マリアとの協力」は世界の様々な地域で、「マリアへの奉献」とも呼ばれてきました。)

私たちは、受洗によって、この世の変革のために、イエス・キリストのようになることを求められています。受洗した人としての私たちの生活の中心は、キリストに従うことであり、教会において主と一致することです。このように、キリストは私たちのミッションの源であり、基礎となっております。

私たちの創立者たちは、マリアニスト家族を通じて、イエス・キリストの受肉、すなわち、すべての人の救いのために、神の御子がマリアの子になられたという秘儀に基づく霊性を、今日なお、私たちに与えてくれるのです。

キリスト教界のいずれの文化においても、マリア信心の様々な形態が見られます。マリアニストの霊性は、この世にキリストを顕すというマリアのミッションを、マリアと協力して遂行することを私たちに求めています。マリアと私たちの関係のこのような理解の仕方は、「マリアとの協力」と呼ばれてきました。これこそが、私たちをマリアニスト家族の全会員と結びつけ、キリスト者の共同体を形作り、これを築き上げることへと導きます。マリアニスト家族におけるマリアへの奉献は、マリアと協働してキリストをこの世に顕そうという、私たちの献身を証するものです。私たちは、共同体での祭事のなかで、それぞれの土地に応じて、また豊富な文化的多様性を尊重しながら、「マリアとの協力」を表わしています。

現在この世にあって、私たちはマリアとの協力によりキリストと一致し、聖霊の力によって強められ、「神の国」の建設に励みます。私たちは、マリアニストとしての召命によって、この世にキリストを顕すという、私たちのミッションに生きる霊性をいただいています。このことこそ、私たちが信徒マリアニスト共同体に所属することの究極的な意味であり、私たちは、それを生涯の選択とします。信徒マリアニスト共同体に所属することは、私たちにとって、全人格にかかわる選択なのです。

この世における教会のミッションへの奉仕として、私たちの個人的・共同体的生活が、福音宣教のための最も重要な手段であると、私たちは考えます。私たちは、キリスト教徒が増加し、もっと正義が行なわれ、他者に思いやりがあり、自由であり、相互に助け合うような世界の発展を目的とする、あらゆる宣教活動に協力することに努めます。

私たちの宣教が真正で、寛大であり、誠実なものであるためには、私たちが「強い信仰を持ち、希望を確信し、ゆるぎない愛を持つ」人であることが大切です。私たちは、この力を、祈り、継続的な育成、個人と共同体での識別力、実行、共同体の生活を通して見出します。

信徒マリアニスト共同体の一員として、私たちは、マリアニストのカリスマに生き、分かち合いなさいという神の呼びかけに応えてきました。

私たちは養成されます

私たちの共同体は、どのようにして、マリアニストの歴史とカリスマの理解を深めるのでしょうか。私たち自身のマリアニストとしての生き方は、どのようにこの歴史に結びついているのでしょうか。マリアニストのカリスマは、私たちの今、それぞれの場所です。どのように生かされているのでしょうか。

私たちは祈ります

私たちにとって、受肉は何を意味するでしょうか。「すべての人々の救いのために、御子がマリアの子となられたという、イエス・キリストの受肉の秘儀」は、私たちの祈りの生活にどのように表れているでしょうか。

私たちは行動します

私たちは個人としても、共同体としても、どのようにイエスをこの世に顕したらいいのでしょうか。私たちは、日々この「生活の自由な選択」を、どのようにもっと充実して生きることができるでしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

マリアを理解し、マリアとの関係において成長する人たちである。

私たちは、マリアを母として、模範として、教育者として、喜んで迎え入れます。マリアは自由意思をもって、その生活の中に聖霊の現存を受け入れ、信仰を取り巻く闇の中にあってもそれを保ち、インマヌエル、つまり、「私たちと共にある神」を宿し、かくしてキリストを世に与えました。

私たちは、救いの歴史の中でのマリアのミッションを認めます。マリアにおいて神は、この世に顕れる道をお示しになります。私たちは、人類が必要とするものに敏感な心を持ち、マリアの「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」（ヨハネ 2：5）という指示を実現したいと思います。

マリアのミッションは、私たちのミッションです。私たちは、マリアが「神のみ言葉」に耳を傾ける態度、預言的な行動や神のご意思を直ちに聞き入れる姿勢、純然さ、そして忠実さへと私たちを導いてくださる聖霊に対しての、マリアの開かれた心に深い感銘を受けます。マリアの「マニフィカト」（マリアの賛歌）と一致して、私たちは、神がだれよりも、貧しい人を愛されたことを証しする人になりたいと思います。

マリアニストの霊性に生きる中で、私たちは、きわめて多様な文化的・社会的背景を持つ様々なところで、現代の挑戦に直面します。私たち個人の生活や共同体の生活は、分裂や孤立の危険に脅かされています。私たちマリアニストは、この挑戦的な時代と闘う力の源泉をマリアの中に見出します。

今日、現代のしるしに深く注意を払い、信仰と生活を一体化することに努める時にあたって、私たちは、創立者たちの教えと「マリアとの協力」の中に、私たちの献身を深める霊性を与えてくれる道を見出します。

私たちはまずマリアを知ることにも努めます。

マリアは、私たちにとって、知恵の尽きることのない泉です。それゆえ私たちは、聖書の以下の章句の中に、マリアの姿勢を見出すように努めます。

「お告げ」(ルカ 1:26-38)の中に、私たちは、マリアの神への信頼と神のご意志を喜んで受け入れる姿勢を見出します。マリアと共に私たちは、「お言葉どおり、この身になりますように」と確言してはばかりません。

「ご訪問」(ルカ 1:39-45)の中で、私たちは他者に寄り添い、奉仕することをマリアから学びます。私たち自身が何らかの困難をかかえていても、私たちは、マリアのように、他者に対していつでも、私たちの最善のものを捧げる者でありたいと望みます。

「マニフィカト」(マリアの賛歌;ルカ 1:46-55)の中で、マリアは神が貧しい人、苦しむ人、社会から見捨てられた人と連帯していることを詠います。マリアは、身分の低い人を高く上げ、この世の悪を打ち砕く神の変革の力の証人です。マリアが示した模範に倣って、私たちは、神の偉大さ、力、憐れみについての勇氣ある証人であり、預言者でありたいと願っています。

マリアはベトレヘムでイエスを生み(マタイ 2:1-12)、身分の低い人にも、権力者にもイエスを顕します。さらにマリアは、自分に起こることすべてに深い注意を払い、それらを大切に心の中に納めます。マリアが示したこの模範に倣って、私たちも、この世のすべての人の生活の中にキリストを導き入れる道でありたいと願い、キリストがすべての人の中に生まれ成長することを容易にし、マリアがしたように、これらの出来事を深く思い巡らす者でありたいと望みます。

マリアは、その時代の暴力的状況下にあつて、幼子の命を守るために、やむを得ずエジプトへ逃れなければなりません(マタイ 2:13-23)。マリアは暴力に直面するときの福音的な姿勢を、私たちに教えています。私たちは、同様の状況に苦しんでいる、すべての人々と連帯したいと望みます。

マリアがわが子イエスを神殿の中で見つけるとき(ルカ 2:50-51)、マリアは神の計画が分かりませんが、それを心の中に納めます。この姿勢を通して、マリアは私たちに、心の信仰を生き、たとえ理解できなくても神の意志を受け入れ、それを遂行するよう勧めています。

「カナ」の婚宴(ヨハネ 2:1-11)で、マリアは、どのような時でも他者の求めに注意深い女性であることを明らかにし、イエスに信頼を置いています。マリアのこの姿勢は、人々の求めに耳を傾け、「この人が何か言いつけたら、そのとお

りにしてください」という言葉を受け入れるよう、私たちに求めています。

マリアは、イエスの十字架のそばに、イエスが愛した弟子と共に立っています(ヨハネ 19:25-27)。私たちは、彼らのように、私たち自身の苦しみを受け入れ、他者が苦しむときに寄り添うことを望みます。イエスは、マリアを母として私たちに与え続け、そしてマリアは、私たちを自分の子として受け入れます。

「聖霊降臨」(使徒 1:14)で、マリアは、イエスの弟子たちと共にあって祈り、彼らの信仰を支え、聖霊の降臨を信じています。マリアは、私たちが一致して、祈り溢れる共同体を作り、宣教に向かい、聖霊の働きと賜物を受け入れるよう、励まします。

マリアについての知識を深めるため、私たちは祈りや養成を通じて、また私たち個人の生活の中にマリアを顕す生き方を通して、マリアに触れる必要があります。聖書以外でも、特に教会の文献や福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナード神父の著作、あるいはマリアニストの伝統やマリアニスト家族の公式文書に基づいて、私たちは自分自身を養成することを望みます。

私たちはマリアを愛することに努めます

私たちは、強い信仰、つまり私たちをたゆまず希望にむけ、愛によって鼓舞された、心の信仰に強い人となることを望みます。その時代の女性信徒であったマリアと同様に、私たちは歴史の中のある特定の時代に生きていて、マリアが示した模範に倣って、マリアが私たちを愛するように、私たちも人々を愛するために、自分自身のありのままを捧げる信徒なのです。

現代の特徴のひとつに、暴力の急増と、これに対する不感症があります。マリアニストとして、私たちは暴力を拒絶し、人々を正義と平和、そして和解の中に育てることを選択します。

それぞれの地方の教会で独特な民として生きつつ、旅する神の民のメンバーとして、私たちは、兄弟姉妹と一致して人生を送っています。私たちは、異なる文化に相応しいマリア信心の表現を通して、マリアへの献身と愛を公けに表明します。

マリアは、祈る女性として、私たちに、生活のあらゆる場面で祈り、他者の苦しみと連帯してひとつになるよう呼びかけています。マリアは私たちの仲介者です。マリアは、私たちと共に、私たちのために祈り、そして私たちは、マリアにイエスの母として、また私たちの母として祈ります。

マリアは「み言葉」に注意深い姿勢を貫き、自分の生活の中に神の意志を確信して受け入れながら、「心の信仰」を生きました。マリアが示したこの模範に倣って、私たちは信仰を判断の基準とし、生活の中心とします。

私たちは、他者の中にキリストの現存を見出しながら、隣人を親切にもてなし、受け入れ、世話をすることに基礎を置く家族の精神に生きます。聖霊降臨のときのように、マリアは、私たちの共同体と共にいて、共同体をすべての人に開き、どんな人でも差別することなく受け入れるように変えてゆくのです。

マリアがすべての人の母であるという考えに基づいて、私たちは、心と共同体を開いて、だれでも受け入れます。多様な文化的特徴を与えられている私たちは、それぞれの違いの故に豊かであり、真の家族の精神と率直な対話を促進しながら、共同体での生活と宣教に焦点を合わせます。私たちは、個人や共同体の生活において、マリアのように謙虚であることを求めます。それによって、私たちの共同体が誠実であることを示し、私たちに与えられた賜物を、共通の善のために差し出すことができるのです。

マリアが自分のことよりも、親戚の女性エリザベトのことを気遣い、エリザベトと共にあろうと訪ねたのとちょうど同じように、私たちは私たちの兄弟姉妹の求めに注意を向けます。私たちは正義のために、貧しい人と共にあることを約束します。

私たちはマリアに奉仕することを目指します

私たちは、信徒マリアニスト共同体のメンバーとして、私たち個人や共同体の生活の中でマリアの徳に倣い、私たちが生きるそれぞれの社会への奉仕に身を投ずることを目指します。私たちマリアニストのアイデンティティは、私たちの存在と懸命な働きによって、福者ギヨーム・ヨゼフ・シャミナード神父の言葉によれば、私たちのマリアへの帰依が儀式や感情を超えるダイナミックなものであることを証しするように導きます。これこそが、私たちを宣教へと押し進めるのです。

マリアが私たちに求める協力は、私たちの洗礼の約束を新たにするものです。このことによって、私たちは、謙虚さと自由の中でマリアと共に歩みつつ、イエスをこの世に現すという永遠の使命に生きることを選ぶのです。このマリアとの協力によって、私たちは聖霊に信頼を置き、その結果、キリストが私たちの心の中に大きな地歩を占め、また私たちがマリアの使命を実現するようになるのです。

私たちは養成されます

自分自身の言葉で、マリアについて記述してみましょう。自分のマリアのイメージは、どのように形づくられていますか。自分のマリアのイメージは、依然として同じものでしょうか、それとも変わったのでしょうか。自分にとって、マリアへの協力もしくは誓約は何を意味するのでしょうか。

私たちは祈ります

私たち個人および共同の祈りにおいて、マリアはどのような役割を果たしていますか。聖書の章句に見られるマリアの姿勢は、祈りについて私たちに何を教えてくれるのでしょうか。私たちの共同体は、マリアの祝日と地域的な慣習をどう祝うのでしょうか。

私たちは行動します

現今の情勢を記述してくださいー地域的・民族的・グローバルにーそれは正義と平和を求める叫びです。私たちは「マニフィカト」（マリアの賛歌）にどう応えることができるのでしょうか。私たちは、私たちの行動の中で、マリアの姿勢にどのように倣うことができるのでしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

聖書に表されている「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」（ヨハネ2：5）というイエスのミッションを、進んで受け入れる人たちである。

私たちは、全員が宣教師なのです。信徒マリアニスト共同体は宣教共同体です。各共同体は、それぞれの会員、他の信徒共同体、教会、世界がいつも使命に生きるよう力づけます。

私たちの宣教への召命は、「時のしるし」に注意を向け、正義と平和を推し進める活動のために、自分の時間、技術、エネルギー、才能を捧げることに、個人と共同体を表現する場を見つけなければなりません。私たちは、受肉の精神に従って福音に生きるために、世界のしばしば矛盾した不正義な現実から、逃れることはできないと信じています。

私たちには、支援者および協力者として、すべての宣教活動に参加する用意があります。私たちが特別に宣教に関心を持つ点は、若い人々や最も困窮している人たちに信仰を伝えることです。信徒マリアニスト共同体は、私たちの宣教を完遂するために、マリアニスト家族の他の枝と共に活動します。私たち家族の精神と信徒と聖職者との協力は、マリアに促された、私たち固有の教会と社会への貢献です。

私たちは、この世に存在するのですから、イエス・キリストの心と力をもって世を理解し、愛し、変えていこうと試みます。私たちは、人間の歴史において良いものを認め、抑圧、暴力、不正義に力を貸すものを強く非難します。

「救い主の愛とマリアの優しさに包まれて」、私たちは、この世の喜びと苦しみ、希望と不安に関わります。

私たちは、福音の証人です。私たちは、福音が生きているものであることを証しするために、私たちの生活を福音と一致させます。私たちは、常に宣教をするという強い気持ちを持って生きていきます。共同体は、その会員が自己の宣教活動を識別し、評価することを手助けします。本質的に、共同体生活は、私たちマリアニストの宣教活動の特徴的な手段です。

信徒の立場に忠実であり、「時のしるし」に注意を払いつつ、私たちは志を同じくする人々とひとつになります。私たちは、福音を告げ知らせることを委ねられた宣教者です。宣教の役目を忠実に守り、私たちは、キリスト者を増加させ、共同体を作り、共同体のアニメータを育成することによって、私たちの信仰を伝える努力をいたします。異なる地域の文化的状況をよく心得て、私たちは、世界における「神の国」の拡大のために活動します。

私たちは、私たちの兄弟姉妹のうち、最も貧しい人たちをまず第一に選ぶことによって、平和と正義の世界を構築するために活動します。

マリアとの協力のために、信徒マリアニスト共同体の会員は、共通のアイデンティティと使命、共同体での生き方、そして共同体を築く方法を共有します。

この協力は、福音化のための手段であり、これを通して私たちは、以下のことを約束します。

- * それぞれの会員の賜物と召命を尊重し、責任を伴う自由が私たちの愛の結実となるような家族生活の模範を、私たちの証しによって組み立てること。
- * すべての人が排斥や差別なしに、平等に受け入れられる共同体を発展させること。
- * 若者の優先的選択権を、改めて肯定すること。
- * 日々の仕事の中で、神の国の建設を手伝うことによって、また平和と正義を求めることによって、そしてこれらに反対するすべての状況に立ち向かうことによって、私たちの地域における社会的、文化的、政治的そして経済的生活に参加すること。
- * 私たちが人生を理解することの証しとなる機会を与えてくれる、人生経験の重要な場として、私たちの仕事を見なすこと。
- * 人生と仕事に創造の完全さを求めること。
- * 信仰と共同体の献身について、簡素で謙虚な表現を共有すること。

私たちは養成されます

私たちは、共同体として、地域的、民族的、世界的に、どのように「時のしるしに注意を払っている」でしょうか。私たちの共同体は、構成員に対して、その個人的なミッションを識別し、評価することにどのように手を貸しているでしょうか。

私たちは祈ります

私たちの祈りは、私たちの正義、平和、創造の完全性のための活動への使命を、どのように反映しているでしょうか。私たちは、どのように「信仰と共同体の献身について簡素で謙虚な表現を共有して」いるでしょうか。

私たちは行動します

私たちは、信徒マリアニストとして、「時のしるし」にどのように対応していますか。私たちは、どのようにして「私たちに日々課せられた課題の中に神の国の建設することができるでしょうか。私たちの共同体は、どのようにして私たちの地域で「社会的、文化的、政治的そして経済的生活に参加する」ことができるでしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

希望の共同体を建設し、維持することに手を貸す人たちである。

キリストの愛に駆り立てられて、私たちは、初代のキリスト教徒たちの場合と同様に、キリストを中心とした共同体を創ります。私たちの共同体は、キリストの愛のしるしであり、共同体は私たちに心の準備をさせ、私たちを派遣し、勇気づけ、清め、奮い立たせ、宣教活動を持続させます。私たちは、初代教会が示した模範に倣って、共同体の中で私たちの信仰を守って生きてゆきます。

マリアニストの召命は、複数のグループの中から生まれました。共同体は、シャミナード師が最初に創設したボルドーの信徒会に導入された特徴のひとつで、彼らを用いた福音宣教の手段は、共同体を「増やすこと」でした。今日、国際的な諸権利を持ち、信徒たちの私立団体として、カトリック教会によって認証されている信徒マリアニスト共同体は、世界中に存在し、現代の教会の文化の多様性を反映しています。

グローバル化、競争力、成功への強迫観念などで特徴づけられる時代にあつて、私たちは普通の人たちの、繋がりたい、社会を変革したい、そして私たちの信仰の共同の次元について徹底的に考えを深めたいという要望に応えられる、具体的で目にみえる場所としての共同体を必要としています。

また私たちは、すべての人々に神の言葉を伝えるという教会のミッションに対して、信徒たちがより一層の責任を担っている教会の一員でもあります。教会が、現代に関わる問題や今日の世界の現実に懸命に取り組んでいることを認める一方で、私たちは、教会自体の中に対立や不寛容が存在することに懸念を抱いています。これらの難題に直面し、シャミナード神父のメッセージが、まさに今日に当てはまることを感じ取って、信徒マリアニスト共同体はこの難問に挑戦することが求められています。

次の5つの項目の中で、私たちは、単に私たちのアイデンティティの特徴の定義を述べるだけでなく、それをどのように生きるかの意味づけもしたいと思います。

私たちは信仰共同体である。

私たちは、救済、自由、正義を、共同体の中に、そして共同体を通して見出すことを信じます。創造主である御父、救い主である御子、聖化する聖霊から成る三位一体の共同体は、多様性がありながら一致しており、生産的である共同体の模範です。イエス・キリストのうちに、私たちは、他者を、マリアと共に神の民の旅路に同行する兄弟姉妹と見なします。

共同体における私たちの生活が、私たちのマリアへの奉獻と創始者たちの教えに従うことの意味を与えます。私たちは、創始者たちの考えに基づいた、マリアとの協力を深く生き抜いてゆく共同体です。私たちは、マリアの精神と、マリアが私たちに教えた価値を発展させていく共同体なのです。

私たちは、信仰を生活の中心とします。私たちは、信仰には個人的な次元と、共同体的な次元の両面があることを理解し、信仰の分かち合いを求めます。

私たちは、福音を拠り所としており、それゆえ「神のみ言葉」に注意を払います。私たちは、福音を伝える仲間として、お互いを必要としています。同時に、私たちの信仰は、共同体の中で識別され、育まれ、祝われ、生きられねばなりません。

私たちにとって、共同体は恵みとして、そして困難を伴う課題として経験されます。共同体とは、「聖霊」による呼び出しによってできたものであって、私たち自身の手だけで作られたものではありません。私たちは、このことを、「聖霊」の呼びかけ、召命、そして人生の選択として受け止めます。

私たちの共同体の中における、人と人との関係は、共同体を神が現存されるという秘跡として、また会員間における信仰と愛の表れとして把握することによってのみ、理解し発展させることができます。信仰に基づいて私たちは、真の共同体生活の遂行に必要な、対話を持続させること、争いを乗り越えること、赦しと和解、奉仕と愛を発見することができるのです。

共同体に生きるということは、神が現存されること、そして神の愛の教えのし

るしを体験するときに、私たちの喜びの源となります。

私たちは、教会の一部です。私たちは、教会を地域的・国家的レベルで体験します。私たちは、教会に私たちの共同体の経験の数々を提供し、教会は私たちをミッションの遂行のために世に送り出すのです。

私たちは人生の共同体である。

私たちは、異なる文化の状況の中で生活する、様々な国における信徒の共同体です。私たちは、年齢も違い、性格も、経済状態も、仕事も趣味も異なっています。私たちは、個人的、社会的、政治的、そして経済的なそれぞれの側面すべてにおいて深く関わっています。

共同体は、これに所属し、その活動に参加したいという会員自身の自由意志による献身によって成り立っています。

共同体生活の最も具体的な表現方法は、頻繁に行なわれる例会、集会そして式典です。会員たちは共同体の裁量によって定期的に、また頻繁に集まります。

私たちは共に祈り、お互いの絆を強めます。いくつかの集まりでは、聖体祭儀（ミサ）の中で、献身の気持ちを新たにします。

共同体に生きるということは、私たちの日常生活の延長であり、不可欠な部分です。私たちの共同体は、共通の霊性と会員による共同決定を、その特徴とします。この意味で、私たちの共同体は、特定の主義だけを主張したり、治療の場を提供するようなグループとは異なるのです。

どの共同体も、それぞれの文化的背景の中で自己の組織を認識し、またいかにしてマリアニストの特徴的価値を育成していくか見分けます。

私たちの共同体は、誰でも温かく受け入れます。私たちは個々の人たちを尊重し、多様性を歓迎します。また喜びと誠実な心を持って、新会員や訪問者を歓迎します。

私たちの共同体は、福音の教えとマリアニストのカリスマの双方に照らされて、個人として、また共同体として、その会員資格や生き方、またその責任を識別してゆく

場なのです。私たちは、個々人の成長を大切に、それぞれの持つ、神に与えられた賜物の成長と生涯にわたる学習を支援します。個々の会員と共同体は、一体となって、それぞれに未来へ向かって成長することを決意し、健全に成熟して自由に前進しようと努めます。

私たちの共同体は、奉仕のために、そして神の国の到来のために、会員が行なっている活動を支援し、またそのような活動に会員を送り出します。それらの活動は、私たちを前進させ、刷新します。私たちの共同体は、繋がり、友情、和解の場であり、それはまた、一番身近な共同体である会員の家庭の日常生活を補い、強めます。

共同体の中で、私たちは鋭い良心を培い、重要な技術、すなわち共同体の発足とその信仰の活性化の方法、社会分析と神学的な深い考察、一つ「時のしるし」を見分けること、そして様々な務めでの奉仕を行い、地球村における正義と平和のために行動する道を学びます。

私たちの共同体は、信徒の生活を全面的に支援し、神への信仰を築き上げるものとなります。難題や不安をかかえながらも、私たちの日常生活こそ、私たちの信仰の証しであり、マリアニストの霊性によってイエスに従う道なのです。

私たちの共同体は、現代の世界における希望のしるしであり、忠誠、平等、そして連帯の証しです。私たちはマニフィカト（マリアの賛歌）に示されるマリアの勇気を身にまといますが、このマニフィカトにおいて、マリアは世の人々が求めていることに根本的に応えてくださり、私たち自身を希望のしるし、忠誠、平等、連帯の証しへと変えていくのです。

私たちは共同体を創る共同体である。

共同体において自分の信仰に生きると、人々を招き支援することは、私たちの福音宣教の方法として最も望ましいものであり、効果的な社会変革の手段でもあります。

新しい共同体は、いずれもその独自の祈り、祝い、互いの支援、証し、そして社会参加を展開させます。その共同体としての展開の中で、共同体は、より規模の大きなマリアニストの共同体によって導かれ、通常は資質豊かな信徒、または修道者による指導を受けます。

各共同体は、共通のマリアニスト文化を創り上げていく一方で、独自の伝統やシンボルを用いてその多様性の美しさを表現します。

各共同体は、それぞれの規模や活動に見合った組織作りをします。共同体はそれぞれ会員によって識別され、選出された自治的な代表者のチームを持ちます。このチームは、特に共同体の信仰の育成や養成、もてなし、そして社会活動のための世話をします。

共同体は経済的に自立し、共同体の経費を分担する方法を決定します。各共同体は国レベル・国際レベルの共同体組織の主たる出費に対して、応分の寄付を行いません。

共同体を存続させ、発展させるためには、各共同体は常に自己を刷新し、新しい挑戦に前向きな心構えを持ち続けなければなりません。そのためには、養成と祈りが必要ですし、指導や万全の策を探し求めねばなりません。

私たちは、「養成」こそ、マリアニストのカリスマの共同体的側面を理解する根本的な手段であると見なします。養成によって、共同体発展のための教育が得られます。養成を通じて、会員は個人への支援を中心にしたものから、さらに宣教と他者の支援へと焦点を移してゆくのです。

各グループは、それ自体が発展しつつある宣教であり、その一人ひとりの会員は、特に共同体を創り、成長させるために活発に活動するとき、宣教者となります。

私たちは「永続的な宣教」に生きる共同体である。

聖霊降臨のとき、マリアは初代教会共同体の中心にあって、人々の信仰と祈りを守らせ、「聖霊」を待望する人々を支え続けました。福音に示されていることを使命とする人々にとって、マリアは使徒的霊性の手本です。

私たちの共同体は、それ自体が最終目的ではありません。ですから私たちは、自身の福音宣教の精神を、共同体の内部だけでなく、世界との関わりにおいても表明します。

- * 私たちが共同体で体験することは、宣教の準備となります。
- * 祈りを通して、私たちは神の働きに心を開かれ、他者が必要とする様々なことにも鋭敏になれます。
- * 養成を通して、私たちは、神がすべての人を愛されていること、差別からの開放を必要とされていることに対して理解を深めます。
- * 共同体生活は、他者との関わりを築き、深め、活発にします。

私たちは、会員が世界中の様々な責務に参画することを支援します。

- * マリアの宣教者として、私たちは、自分たちが深く関わる活動の分野で共同体を建設する者です。
- * 私たちは、会員が公的な分野で、福音を十分に実践するよう特に励まします。
- * 私たちは、会員、他の共同体、教会また世界が使命を帯びて行なう粘り強い活動を応援します。
- * 私たちは、新しい使徒的活動の発動を受け入れ、これを支援します。

マリアとマニフィカトを歌いながら、私たちの共同体は聖霊を受け入れ、不正と立ち向かい、自由と希望のメッセージを宣言することに努めます。

- * 私たちは貧しい人、社会から見捨てられた人と連帯し、正義と平和のために活動します。私たちは人間の権利、人間性の開発を、人間関係と生体環境の価値も含めて促進します。
- * 私たちは、若い人々が喜んで受け入れられるような、信徒マリアニスト共同体を発足させ、維持することに特別な注意を払います。
- * 私たちの家庭の精神とマリアニスト家族の全会員間の協力は、教会の刷新に対する私たちの特別な貢献となります。

私たちは養成されます

私たちの共同体は、神から与えられた独自の賜物を生涯にわたって学び取り、それを大きくすることにどのようにして助成しますか。私たちはどのようにして「全体性、完成、差別からの開放において前進することに努める」のでしょうか。

私たちは祈ります

私たちの信仰は、どのように「共同体の中で識別され、養われ、祝福され、生かされる」でしょうか。私たちの祈りは、どのように私たちの使徒的靈性を表し、支え、養成するでしょうか。

私たちは行動します。

私たちの共同体は、どのように「賜物と課題」の双方を与えられているのでしょうか。私たちはどのように「会員が公的な場で完全に福音に生きることを励ます」でしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

教会の中で預言的しるしとなるように成長する人たちである。

マリアニスト家族のメンバーとして、私たちは、教会におけるマリアの様々な働きを推進します。私たちは、このマリアの模範が教会での賜物であり、聖霊が新しい人間性を形作ることに貢献するよう私たちを導くことを信じます。私たちは以下に述べる特徴を持ちながら、社会と教会の預言的しるしでありたいと望みます。

- * 包括性：マリアの扉は神を求めるすべての人に開かれています。
- * 平等性：すべての人は聞き入れられ、自分自身を他者と対等な者として表現するよう励まされます。そして、すべての人は、性や人種、教育、市民としての地位、社会的身分の違いによらず、平等の権利を持ちます。
- * 参加：権威は特権なき奉仕であると理解されており、執行機関は決定と研究課題のために開かれていて、違う考え方を理由に何人も排除されているように感じることはありません。
- * 対話：判断を下したり、非難をする前に、個人やグループの間で、よく相手の言うことを聴き、相互に影響しあう姿勢があります。この姿勢は「聖霊」に対する堅い信頼をもって、人智の限界を探求することを可能にしてくれます。
- * 団結：貧しい人々、貧しくさせられている人々に、神の子供たちとしての彼らの尊厳についての福音をもたらし、愛の文明を築くことを可能にする相互の義務を共に考えるために、彼らに近づくことが増えてきています。
- * 感受性と愛情：すべての人が互いにより近づき、喜びと悲しみを分かち合います。
- * 忍耐：他者の中の成長の段階を尊重し、理解します。
- * 勇気：神の国を築くため、正義と真理を支持します。

最後に、私たちは、すべての人が神の国に対して責任を持つような教会を建てます。

私たちは養成されます

私たちの共同体は、どのようにして、教会のマリア的側面の特徴に接して、私たち自身を形成することができるでしょうか。私たちの形成の仕方は、これらの特徴をどの程度反映しているでしょうか。

私たちは祈ります

私たちは、どのようにして、私たちの祈りの中で、教会のマリア的次元を示すことができるでしょうか。またどのようにして、この特徴の一つひとつが、私たちの神との関係と私たち相互の関係を深めることができるのでしょうか。

私たちは行動します

私たちの教会の中に現存するマリア的側面の特徴とはどのようなものですか。もし欠けているとしたら、どの特徴でしょうか。私たちは、信徒マリアニスト共同体として、他の人々に対して、どのようにして教会のマリア的側面を積極的に推進し、手本として示すことができるでしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

祈りと信仰において成長する人たちである。

私たちは、このカリスマを私たちの生活の中に受肉させ、今日の世界にとって「福音」であるイエスに、生活の中心を据えるようにと努めます。

この理由から、「聖霊」の招きに自由意志により、寛大に応えたマリアの道を、私たちの手本とします。

- * 私たちは、神の国の建設のために働きます。「時のしるし」に注意を払い、完全に世の中に入って、貧しい人や社会から見捨てられた人と連帯します。私たちは、家族の精神をもって共に生きます。その精神は、親切なもてなし、同情、奉仕、喜び、質朴、そして、他の人々とその成長と発達の独自のリズムに対する尊重することに裏づけされたものです。
- * 私たちは、召命に応えるために、マリアの精神によって神への奉獻に生きます。

私たちにとってそれは：

- + 洗礼と堅信とに対する自由意志による応諾。
- + キリストを世に顕す使命を持つマリアへの奉仕に対する明白な約束なのです。

私たちの召命に忠実であるため、私たちは以下の要求に応えた生き方をすることを約束します。

- * 個人および共同体の祈りに時間を当てること（ある国々においては3時の祈りとマリアへの奉獻の祈りはきちんと唱えられています）。
- * 「み言葉」に耳を傾け、「聖体祭儀」において信仰を共に祝うこと。
- * 信仰を成長させ、これに一層同化しつつ、マリアニストのカリスマに生き、これを伝えること。
- * 個人のライフ・スタイルと活動または任務の計画を立て、共同体においてそれを識別すること。
- * 他者からの霊的指導に心を開くこと。

- * 正確に「時のしるし」を認識するのに役立つ、文化的・社会的分析の技を磨くこと。
- * もっと正しい人間的な世界を構築するために、個人や共同体の活動へ導くような技を磨くこと。
- * 種々の生活状況、例えば家族、仕事、社会、政治、近所づきあい、教区、教育などにおいて責任をもち、奉仕の態度をもって活動すること。
- * 積極的に共同体の生活に参加すること。団結のしるしである私たちの共同体は、また祈り、養成、み言葉の黙想、一致、そして他者への奉仕の約束を更新する場でもあるのです。

私たちの霊性は、私たちの生活の個人的、家庭的、職業的、社会的、教育的、政治的、経済的、文化的そして教會的といった多様な状況を変革することによって、世界の関心に対する現実的・効果的回答を与えるよう私たちを励まし、促します。

私たちは養成されます

私たちは、個人としてまた共同体として、「信仰を成長させ、これと一層同化しつつ、マリアニストのカリスマに生き、これを伝える」よう委ねられているのでしょうか。私たちの現在の養成は、「私たちの生活の個人的、家庭的、職業的、社会的、教育的、政治的、経済的、文化的、そして教會的といった多様な状況を変革することによって、世界の関心に対する現実的・効果的回答を私たちが与えること」に助けとなっていますか。

私たちは祈ります

自分自身が好む祈りのスタイルはどのようなもののでしょうか。自分が属する共同体が好む祈りのスタイルは、どのようなもののでしょうか。私たちの祈りの中で何が私たちの長所であり、何が短所でしょうか。どのような霊的な導きが、私たちには得られるのでしょうか。

私たちは行動します

信徒マリアニストとして、私たちは、祈りや行動の中で、「聖霊の招きに自由意志によって寛大に応えるマリアの態度」をどのように手本とできるでしょうか。私たちは、日々の仕事の中で、どのようにして「マリアの精神のうちに神への奉獻に生きる」ことができるでしょうか。

信徒マリアニストとは・・・

マリアニスト家族へ時間と能力を提供し、私たちの
信徒組織を支えるために、財貨を提供する人たちで
ある

私たちは、共通のカリスマを持つ、マリアニスト家族の一員です。マリアニスト家族のすべての枝の間の相互の協力は、それぞれの枝を豊かなものとし、教会の使命に一層奉仕します。

信徒マリアニスト共同体は、アリアンス・マリアル、汚れなきマリア修道会、信徒マリアニスト共同体、そして、マリア会の4つの枝から成る、さらに大きな共同体、つまりマリアニスト家族の中のひとつです。

私たちマリアニストは、小さな共同体に組織されていますが、これらは地方的、地域的、国家的、国際的レベルに相応しい独自の自治権を持っています。これらのどのレベルにも、責任ある信徒またはチーム、そしてマリアニストの信徒と聖職者の助言者がいます。すべての会員は、どのレベルにも参加するよう招かれています。

すべてのレベルの組織、そしてその個々の会員によって、信徒マリアニスト共同体は、教会のミッション、活動、決定に参加することを求めます。

孤立した共同体は、完全なものとはいえません。国レベルの組織を通して、信徒マリアニスト共同体はどれも、その国または地域レベルの他の信徒共同体と繋がりを持ち、また信徒マリアニスト共同体国際組織を通して、世界中の信徒マリアニスト共同体と繋がっています。このようにしてすべての共同体は、地方的レベルの関心事を超えた、より大きな世界的視野によって、豊かにされているのです。

マリアニスト共同体はいずれも地方的なものであると同時に、全世界的なものでもあります。各共同体は地方において活動していますが、マリアに倣って、キリストを世界にもたらすという、文化の多様性を持つマリアニスト家族全体の努力の一端を担っているのです。

信徒マリアニスト共同体は、地方・国・地域・国際のレベルのマリアニスト家族評議会の創設に協力し、正会員の資格を持って、これに参加します。私たちとマリアニストの他の枝との関係は、連帯・平等・自治権と多様性の尊重、そして責任の分担に基づいています。このようにして私たちは、創立者が教会について持っていた預言的な視点を証しするのです。

私たちは、マリアニスト家族の世界評議会の活動、特に、すべてのマリアニストを共通の使命をまとめようという様々な努力を支援します。

組織および信徒マリアニスト共同体の活動の経費は、会員たちによって分担されます。

私たちは養成されます

私たちは、マリアニスト家族の4つの枝、すなわちアリアンス・マリアル、汚れなきマリア修道会、信徒マリアニスト共同体、マリア会についてどの程度知っているでしょうか。私たちは、自国の、地域の、そして世界の信徒マリアニスト共同体についてどの程度知っていますか。私たちは、一層の情報をどこで見出すことができるでしょうか。

私たちは祈ります

私たちの祈りは、家族の精神にどう反映させることができるでしょうか。祈りは、共同体の中で自分たちの共同体を形成し、養成するのにどう役立つのでしょうか。祈りは、私たち互いのミッションに対して、また切迫した事態が生じた場合に、共同の支援をどう与えることができるのでしょうか。

私たちは行動します

私たちは、家族評議会の活動をどう支援し、促進することができるでしょうか。私たちは、地方や国の信徒マリアニスト共同体の組織をどう支援し、促進することができるでしょうか。私たちは、信徒マリアニスト共同体の国際組織の活動を、どう支援することができるでしょうか。